ルベルソ使用方法

（ペツル取扱説明書より引用）

ルベルソは、ダイナミックロープを使用して登るリードクライマーや、セカンドクライマーの為のビレイ器具です。
ハーネスのビレイループに取り付け、リーダーやセカンドをビレイする為のクラッシックなビレイプレートのような役割をします。
自動ロック取り付け部を使用してビレイをすると、自動ロックビレイモードで一人或いは二人のセカンドクライマーのビレイに使用できます。また、ルベルソは懸垂下降にも使用できます。ルベルソは第一に長いルートでのダブルロープを使用するために設計されています。従って使用説明書にはルベルソをダブルロープでどのように使用するかということが記載されています。
シングルロープの使用も可能で(最低でも直径 10mmのもの)、ビレイには片方の穴を使用し、懸垂するには両方の穴を使用して下さい。

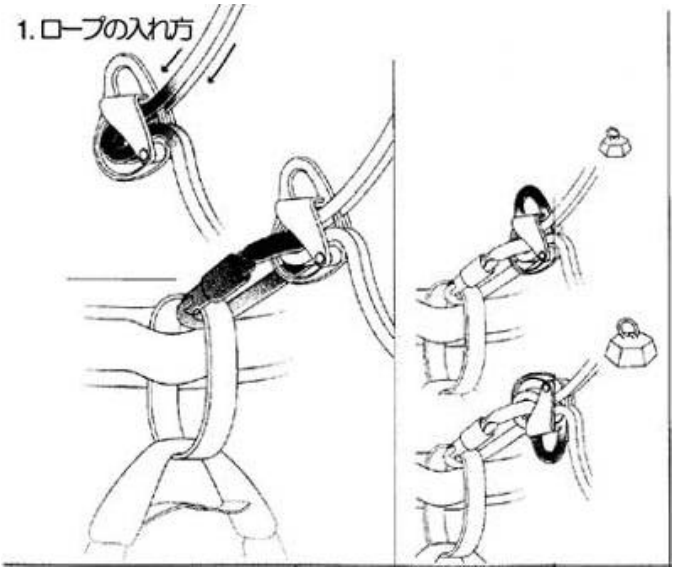


図１：ロープの入れ方
ロープの輪をルベルソのそれぞれの穴に入れます。ロープの輪と保持器を環付きカラビナでクリップしてください。カラビナをハーネスのビレイループにつけてください。

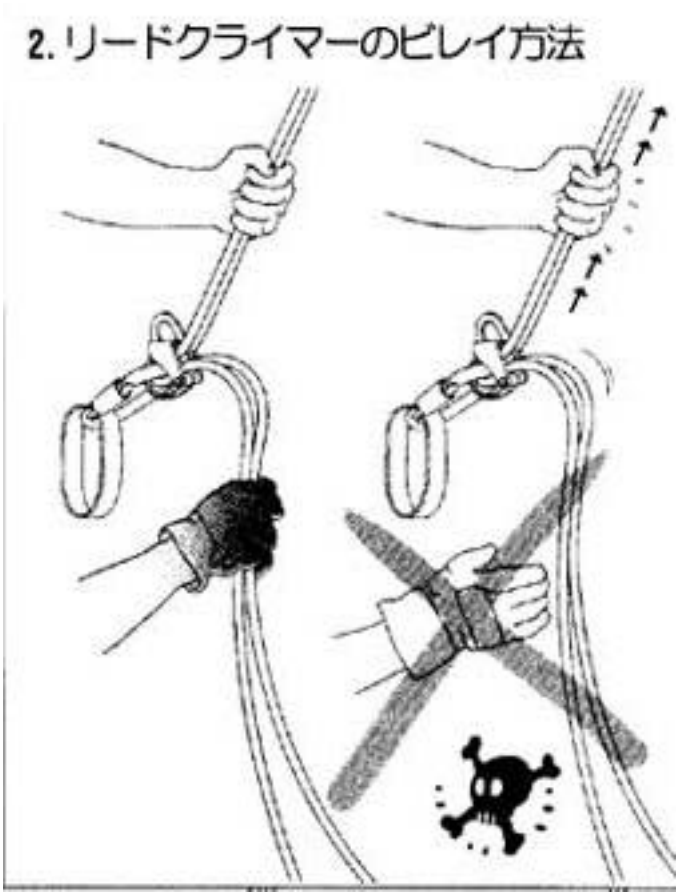


図２：リードクライマーのビレイ方法
パートナーをビレイする時は、ビレイヤーは安全な位置にいて下さい。(危険な場所であればセルフビレイをとってください。)
アンカーを通してロープを流す事は非常に重要です。
●ロープを繰り出す：ロープの端を握っている方の手でロープを上方に押し上げ、ロープをたるませ、逆の手でルベルソからロープを引き出します。この時、ロープがキンクしているとロープが出し難くなります。
● 墜落停止：効果的に墜落を止めるには、ロープの端側の手をきつく下向きに引いてください。
● (使用前に墜落を止める為にはどの程度の力が必要なのか、安全な場所で確認しておいて下さい。)
注意：常にロープの端は強く握っていて下さい。グローブを使用したほうが良いでしょう。

図3：セカンドのビレイ方法

自分自身セルフビレイを取るまでは作業に入らないで下さい。

A.　ダイナミックビレイ：

図1のようにロープをルベルソに挿入してください。セカンドで登って来る人のロープはアンカーに通して下さい。この方法だとロープを流しやすくなります。

B.　自動ロックビレイ：

自動ロック固定部を使い、ルベルソを環付きカラビナでビレイの位置に固定してください。(2)ルベルソのそれぞれの穴にロープを入れてください(クライマーが登ってくる側のロープが上になるようにして下さい。）ロープの輪とリテイナーを環付きカラビナでクリップしてください。クライマー側のロープを引きロープが正確に挿入されているか確認して下さい：ロープがルベルソでジャミングするはずです。両手で器具の中をゆっくりロープをスライドさせます。セカンドが墜落した場合はシステムが機能してロープをはさみ墜落を止めます。注意：テンションがかかっている時はロープを流すことは不可能です。ロック機能を解除するためには、ギアを使いこなせるだけの知識が必要です。

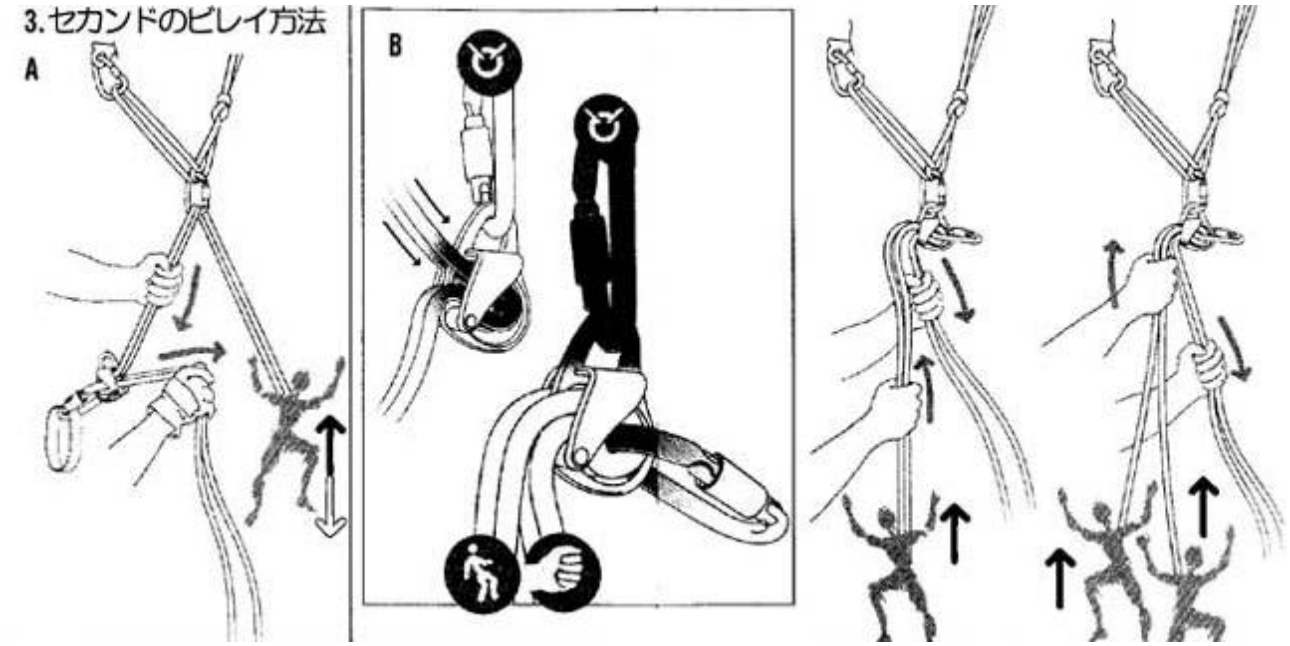


図4：リードの交替

セカンドが到着したら、まずセルフビレイをとります。ビレイヤーがルベルソを支点からハーネスに移します。(図1のように取り付ける）この方法でセカンドがリードクライマーになります。リードクライマーのロープを進行方向の支点に通して下さい。

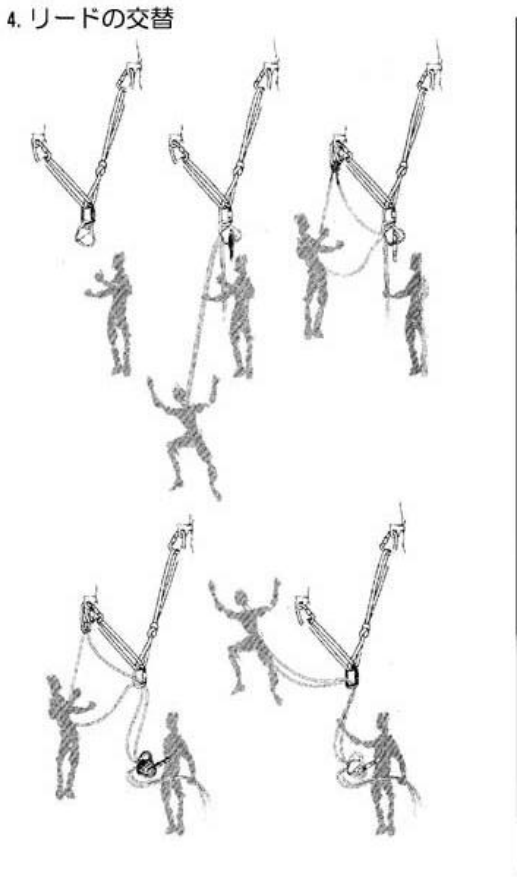
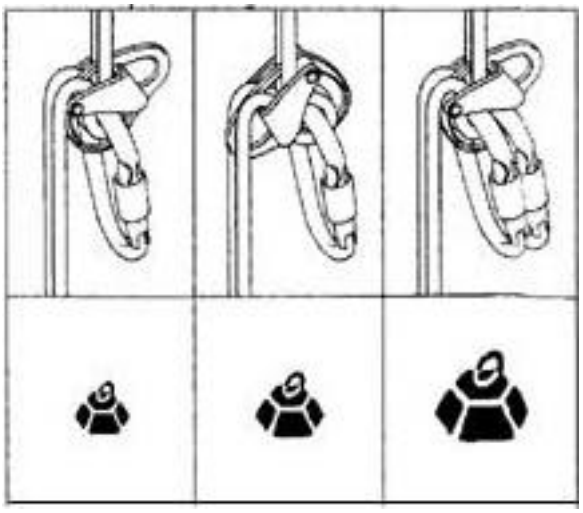


図５：懸垂下降（ラペリング）

図１に示すようにルベルソを挿入します。ラペリングのバックアップシステムを使用して下さい（シャントやプルージック）。ロープの端を強く握ることによりブレーキをかけられます。



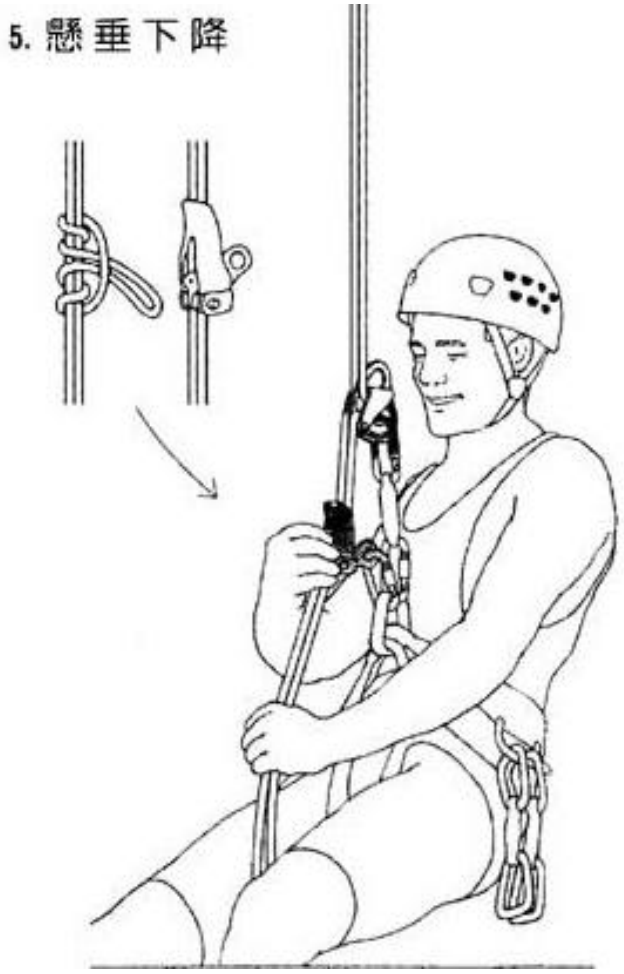
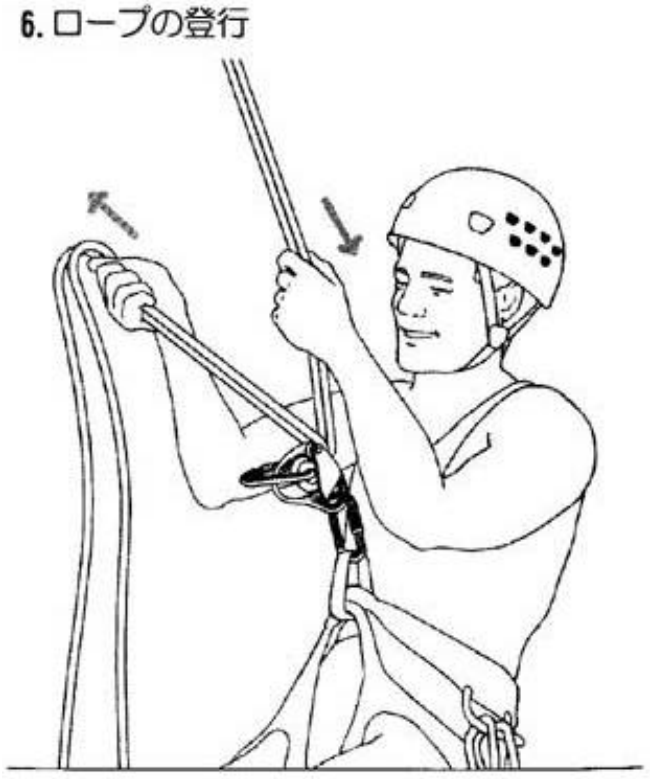
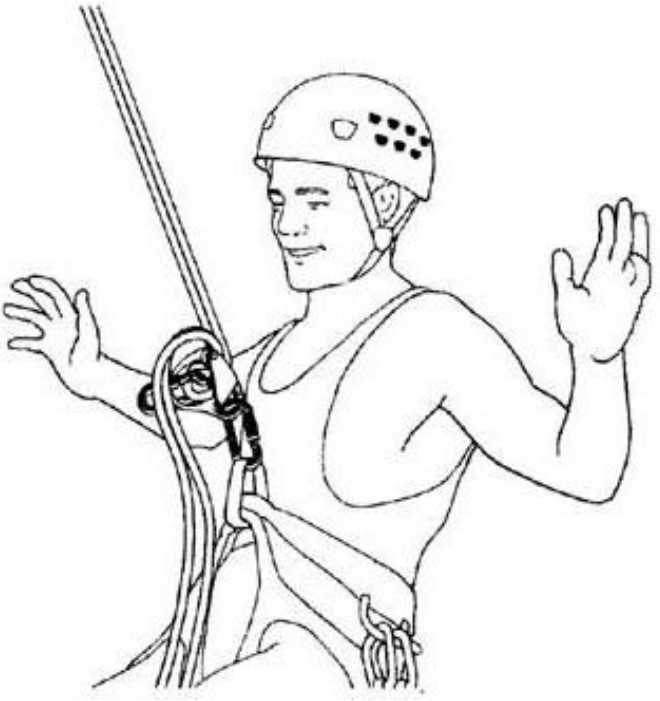
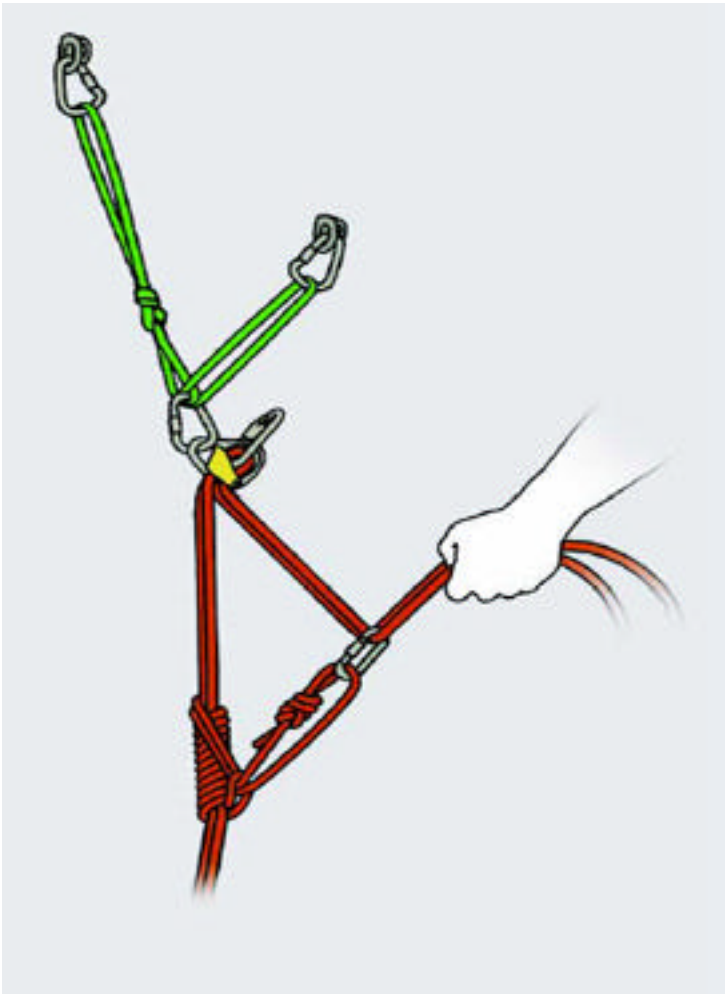


図６：ロープの登行

自動ロック固定部を使ってルベルソをハーネスのビレイループに取り付ける．これにより自動ロックの役割を果たす。

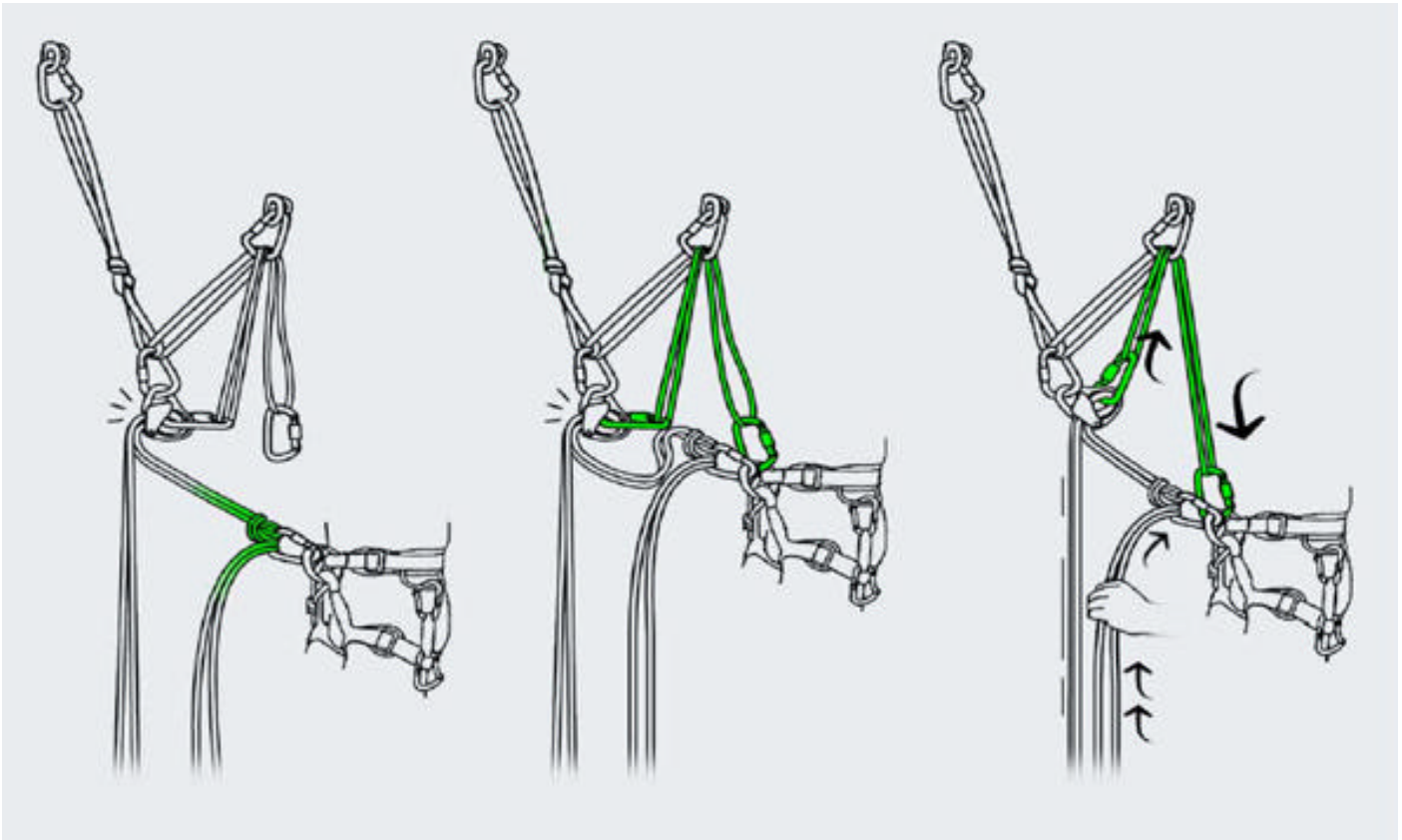






左図は、テンションのかかってしまったセカンドを降ろす方法です。引っ張っているカラビナに荷重が掛かると一気にロープが流れてしまいますので、必ずミュンターヒッチ等で制動をかけてください。

あらかじめ、安全な所で一度練習してみる事をお勧めします。



左の図は、セカンドを安全な所迄降ろせない場合。またはどうしても引き上げたい場合の方法です。
図のようにすれば、二分の一の荷重で引き上げることができます。ただし、ビレイヤーは登る時よりも辛いかもしれません。